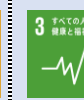
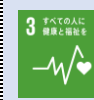
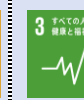
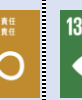
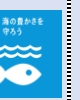


分類	No.	チェック項目	基本	チャレン ジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																	
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
																							
組織・公正な取引	1	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内で共有、実践している。	●		・経営理念を明文化し、経営者は、会社のあるべき姿を月間ミーティングで従業員に説明し共有している。 ・月間ミーティングにより、従業員は、自らの使命を理解し、やりがいを感じており、また社内研修等により、会社のあるべき姿の実現に向け、困難を克服し、新しい技術・事業に挑戦する文化が形成されている。								8	9								17	
	2	【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している。	●		・法令遵守の規程とマニュアルがあり、法令遵守の重要性を、全従業員に向けて発信している。 ・コンプライアンス研修を実施し、従業員への啓発を行っている。																16		
	3	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している。	●		・会社として公正な取引に努め、全従業員に向け、コンプライアンス研修でその重要性を発信している。 ・不正競争行為の禁止を含む行動規範を整備し、明文化している。 ・仕入先等に対し、不当な値引き圧力がないか、市場価格比較によりチェックしている。										10						16		
	4	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当や専門部署などの体制を整備している。	●		・担当者として、取締役常務を、任命している。 ・自らの事業活動が水などの液体やガスなどの気体の衛生的な供給という正の影響と、施工時に発生する合成樹脂くず、合成繊維くず、合成ゴムくすなどの合成高分子系化合物の固形状および液状のすべての廃プラスチック類の産業廃棄物という負の影響をもたらすことを把握している。																16		
	5	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる。	●		・特許、商標、著作権などの侵害排除について、知的財産権の規程を設けている。 ・マニュアル作成の際には、他社の知的財産権の侵害を行わないよう、事前に調査を行っている。 ・ミーティングや日々の業務を通して、知的財産の取扱いやその重要性を社員に伝え、自社技術等の外部流出防止に取り組んでいる。								8.2 8.3	9							16		
	6	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している。	●		・研修会を開催するなど、情報漏洩防止を徹底している。 ・紙ベースの個人情報は、施錠できる場所にて保管し、データベースの個人情報は、ウイルスソフトを最新の状況に維持し保管している。																16		
	7	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー(※)との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している。(※利害関係者：消費者、投資家等及び社会全体)	●		・お客様からの苦情、クレームを大事にし、コミュニケーション強化に取り組んでいる。 ・ステークホルダーとの対話により、自社事業が及ぼす影響を把握し、適切に対応している。 ・施工前、施工中において、発注者や現場周辺の近隣住民と意見交換を行い、対話に取り組んでいる。															16	17		
	8	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応(ハラスメント・汚職・贈収賄防止)について認識を共有し、共に取り組んでいる。		●						5				8		10		12	13	14	15	16	17
	9	【災害や事故への備え】 ・地震や水害などの自然災害や事故などに備え事業継続計画(BCP)を策定し、訓練や見直しを行っている。		●	・地域防災訓練に事業所でも参加している。 ・【予定】令和7年3月までにBCPを策定する。									9		11		13.1				16	17
	10	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている		●	・事業継承セミナーへ参加し、後継者の指導・育成に取り組んでいる。 ・日常業務の中で会社の経営方針や財務管理について教育することで、後継者の育成に取り組んでいる。 ・税理士、外部アドバイザーなどと連携し、事業承継計画の策定に取り組んでいる。								8	9									17
	11	【公正な貿易】 ・フェアトレード商品の調達に取り組んでいる。		●			1	2			5			8				12	13	14	15	16	17
労働・人権	12	【差別的禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出自などによる差別や各種ハラスメントを防ぐ体制が整備され、社内内で差別や人権侵害がないことを確認している。	●		・社外の研修会社開催の研修を年1回受講 ・3か月ごとの個人面談 ・研修会社及び社内に相談窓口の設置				4.3 4.4 4.5	5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3						16.1 16.2 16.7		
	13	【労働安全衛生】 ・業務中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる。	●		・社外の研修会社開催のハラスメント研修を管理職に向け年1回受講指示 ・3か月ごとの管理職より報告書の提出 ・研修会社及び社内に相談窓口の設置			3					8.8										
	14	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している。	●		・各種手当に限らず、同一労働同一賃金ガイドラインに沿って雇用形態の異なる従業員の公正な待遇に取り組んでいる。					5.5			8.5		10.2 10.3								
	15	【ワークライフバランス】 ・働き方の見直し等により、過度な長時間労働を防止し、家庭と仕事の両立を図るためのワークライフバランスを推進している。	●		・残業時間の管理徹底のために全職員の日報を提出し、日報と実際の業務に乖離や矛盾がないか確認する。 ・業務効率化のために、各種アプリケーションソフトの積極的な導入や部門会計により生産性向上を管理する。 ・ボランティア活動として、管工事組合主催の水質向上の清掃活動に積極的に参加する。			3		5.5			8.5 8.8		10.3								
	16	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している。	●		・【予定】令和7年3月までに、資格取得の報奨金制度を創設する。				4	5.5			8	9									
	17	【健康経営】 ・従業員が心身ともに健康を維持できるよう対策を講じ、生産性の向上等に取り組んでいる。	●		・毎週の朝礼時に交通事故等への注意喚起や適切な休息等の健康増進への取組みの促進を行っている。 ・健康診断、インフルエンザ予防接種の経費補助を行っており、社員の健康状態を把握している。			3					8									17	
	18	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者等)が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる。	●		・業務運営や昇進・昇格等に、人種、性別などの違いによる差別的待遇はない。 ・【予定】令和7年3月までに、障がい者や外国人の雇用を予定している。 ・昇進や昇格において、女性、外国人、障がい者、高齢者等の差別的待遇はなく、多様な人材が十分に活躍できる環境保全に取り組んでいる。				4.4	5.1 5.5			8.5		10.2 10.3						16.7		
	19	【新しい生活様式への対応】 ・新型コロナウイルスをはじめとする感染症対策としても有効なテレワークや時差出勤、ウェブ会議等を導入している。		●	・ウェブ会議を実施できる環境を整え、感染症対策に取り組んでいる。 ・研修及び講習会等でオンラインが準備されている場合は、感染症対策の観点から、積極的に取り入れている。			3					8	9.1		11	12						
	20	【デジタルトランスフォーメーション(DX)の推進】 ・ICTやAIを活用したデジタル化やオンライン化等のDXの推進により業務の効率化やビジネスモデルの変革に取り組んでいる。		●	・各種ソフトの導入により、給与明細や賞与明細等の電子化を進め、個人スマホでのWEB明細として閲覧を可能とする等、DXの推進を図っている。								8	9.1		11	12						
	21	【プライト企業】 ・プライト企業に認定されている。		●					3	4				8	9			12					

分類	No.	チェック項目	基本	チャレン ジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																	
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
																							
環 境	22	【環境汚染予防】 ・廃棄物や有害化学物質の適切な管理、及び処理に取り組んでいる。	●		・当社の事業活動の中で発生する廃棄物は、合成繊維くず、合成ゴムくずなどの合成高分子系化合物の固形状および液状のすべての廃プラスチック類であり、有機化学物質は配管固定時の接着用材であることを把握し、適切な管理および処理に取り組んでいる。			3.9			6.3					11.6	12.4		14.1	15.1			
	23	【エネルギー】 ・電力やガソリンなど、自社のエネルギー使用量を把握し、その削減に取り組んでいる。	●		・簡易計算シート等を用いてエネルギー使用量を算出している。省エネエアコンへの入れ替えを行っている。							7.3					13						
	24	【温暖化対策】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる。	●		・簡易計算シート等を用いてCO2排出量を出しており、現場で使用する工具は排出ガス対策型の工具を選定し、CO2削減に取り組んでいる。 ・簡易計算シート等を用いてCO2排出量を算出しており、車両運転時のエコドライブを徹底し、排出ガス削減に取り組んでいる。		2.4					7.2 7.3 7.a				12.4	13	14	15				
	25	【生物多様性】 ・自社活動が環境(生物多様性や生態系等)に悪影響を及ぼさないように配慮している。	●		・事業及び従業員の活動において、再利用により、廃プラやレジ袋などの使用削減に取り組んでいる。 ・管工事組合ボランティアによる緑地や水辺の整備など、生物の生息・生育地の創出に取り組んでいる。					6.6								14	15				
	26	【効率的な資源利用】 ・ごみを減らし、資源を有効的に繰り返し使うため、発生抑制(リデュース)、再使用(リユース)、再生利用(リサイクル)に取り組んでいる。	●		・再生用紙の利用を推進している。 ・ペーパーレス化、裏紙の利用を促進している。 ・缶、ペットボトル等の分別を徹底し、資源の再生利用に貢献している。									9.4			12.2 12.4 12.5		14.1	15			
	27	【水の管理】 ・熊本の水資源の質と量の保全に取り組んでいる。	●		・現場で発生する汚濁水は適切な管理のもと、分別・処理に取り組んでいる。 ・トイレの流量を調整して節水するタイプの便器に改修している。		2.4				6.1 6.3 6.4 6.6 6.b					11.5			14.1 14.2 14.3	15		17	
	28	【環境に配慮した製品等】 ・環境に配慮した製品の購入や製品の開発・製造に取り組んでいる(グリーン購入、リサイクル製品認証等)。	●		・再生用紙利用を推進している。 ・事務所で使用する備品等のグリーン購入に取り組んでいる。 ・再生用紙などとはなるべくリサイクル製品を活用している。									9.4			12.4 12.5	13	14	15			
	29	【食品ロスの削減】 食品ロスの削減に取り組んでいる。		●			1	2				6.4						12.3		14	15		17
	30	【緑の保全管理】 ・壁面緑化や植栽など緑の創出と保全、管理に取り組んでいる。		●	・管工事組合の緑化活動に取り組んでいる。 ・事業所内外に観葉植物やプランターを設置し、植栽に取り組んでいる。												11.6 11.7		13.1 13.3		15		17
	31	【エネルギー効率の見直し・再生可能エネルギーの利用】 ・高効率機器の導入等によるエネルギー使用率の改善またはや再生可能エネルギーの利用や供給に取り組んでいる。		●									7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.5		13.1 13.3				
	32	【森林資源の循環利用に向けた取組み】 ・”伐って、使って、植えて、育てる”の持続的な森林利用への取組みを推進している。		●							6				9.4		11.3 11.4 11.5	12.2	13		15		
	33	【植林等の取組み】 ・植林等の森林整備活動に取り組んでいる。		●							6.1 6.3 6.6						11.3 11.4 11.5	12.2	13		15		
	34	【海洋ごみ】 ・環境中で分解しにくいプラスチックの使用削減等、海洋ごみ、海洋汚染の防止削減に貢献している。		●	・事務所に分別容器を設置し廃棄物の分別を徹底しており、海洋ごみ、海洋汚染の防止削減に取り組んでいる。													12.2 12.5		14			
	35	【環境に配慮した交通手段】 ・電車やバスなどの公共交通機関の利用や、電気自動車や水素自動車などの環境にやさしい自動車の使用を促進している。		●											9.4		11.2		13.1 13.3				
	36	【2050年CO2排出量実質ゼロへの取組み】 ・2050年CO2排出実質ゼロを目指し、計画的にCO2削減に取り組んでいる。		●									7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.6 11.a	12.8	13				17.2

分類	No.	チェック項目	基本	チャレン ジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																						
製品・サービス	37	【製品・サービスの安全性と品質】 ・製品・サービスの安全性や品質を確保する仕組みを構築している。	●		・安全性確保のため、竣工時における業者間での連携会議と完了時の会議、クレームやトラブル発生時の報告体系の徹底を行っている。また、問題の改善に1か月以上の時間がかかる場合は、進捗状況の報告を行っている。			3.9					9			12.4						
	38	【ユニバーサルデザイン】 ・障がい者、高齢者に特定せず、誰もが利用しやすいサービス提供や環境整備を行っている。	●		・事業所の階段には手すりを設置し、駐車場については広いスペースを確保するなど、誰もが利用しやすい環境整備を行っている。 ・現場において、一目で危険が察知できるよう誰にでも分かりやすい看板の設置を行うなど、安全な環境整備を行っている。								9.1	10	11.7					17		
	39	【地域資源】 ・地産地消を推進し、熊本県産の原材料を優先的に使用している。		●	・工事に必要な建設資材は可能な限り(コンクリート二次製品など)熊本県産のものを使用している。		2.3 2.4					7.3	8	9		11.a	12.3	13	14	15		17
	40	【木質化の取組み】 ・自社の執務室等の天井や床、壁等の内装や外壁等に木材を使用し、木質化を推進している。		●								7				12.2	13.1		15			
	41	【社会課題解決】 ・社会課題を解決するための製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる。		●		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
	42	【攻めの農林水産業】 ・地域における産学官連携等による新たな品種開発を促進するなど、地域レベルで農林水産業の生産能力向上に努めている。		●			2.3 2.4						8.2	9.2 9.4		11.a	12.2		14	15		17
持続可能な社会・地方創生	43	【地域への参画】 ・自治活動や福祉活動、防災活動や寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる。	●		・地域事業者として、管工事組合の防災活動や自治会活動に参画している。 ・居住する地域の活動に参画するよう奨励している。 ・管工事組合のボランティア活動(清掃)に年1回取り組んでいる。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
	44	【防災、減災、レジリエンス(自助)】 ・過去の地震や水害などの災害を教訓に、事業への被害を防止・軽減するため、ハザードマップを確認し、避難行動計画や事前防災対策を進めている。	●		・定期的に避難訓練を行っている。 ・事業所において、防災備蓄や防災グッズを常備している。 ・従業員にハザードマップを周知している。 ・社宅利用者において緊急時の連絡発信を義務付けしている ・個人LINEをグループ化し業務時間外も情報共有を行う				4							11.5		13.1			16	
	45	【防災、減災、レジリエンス(共助)】 ・地域防災の担い手としての認識を持ち、防災士、水防団員、救助救急等の必要な技能を持つ社員を育成したり、地域消防団の活動に参加している。		●	・管工事組合への参加を行い防災訓練等に参加し、地域活動等で防災活動を行っている。	1.5		3	4						10.2	11.5		13.1			16	17
	46	【防災関連商品の開発・販売】 ・防災関連商品の開発・販売を促進している。		●										9		11	12	13.1				
	47	【SDGsの普及啓発】 ・環境問題や人権問題をはじめとした社会課題の解決に向け、SDGsの普及啓発や教育機会の提供を行っている。		●		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
	48	【インターンシップ等の受入れ】 ・職場体験、インターンシップの受入れ、職場関連授業の実施など、地域の児童や学生に対し、職業の学びの場を提供している。		●					4				8.6		10.2							17
	49	【若者の地元定着等】 ・若者の県内就職を促進する取組みを行っている。		●	・地元の方を積極的に雇用している。 ・有料職業紹介業者への求人募集の継続により県内就職を促進しており、社員は熊本出身である。				4.4				8.5 8.6									17
	50	【農林水産業の担い手確保】 ・子どもに対する農林水産業教育を行うなど、地域における農林水産業従事者の確保に取り組んでいる。		●			2		4.3 4.4 4.5					8.6		10.2		12	13	14	15	

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。
・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
・〔予定〕の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的な取組みを記載のうえ、提出してください。